

山国川水系河川整備計画【変更原案】に対するご意見及び回答集

番号	意見者		分類	主な意見	意見	回答	対応	
	住民	学識者					整備計画【原案】に反映済み	整備計画【案】に新たに反映
1	○			治水だけでなく歴史文化や環境、観光等にも配慮した河川整備をお願いしたい。	歴史文化に配慮しつつ、水害のない河川改修整備という難しい問題に取り組んでいかななくてはなりません。ぜひ水害のない河川整備をお願いします。	P39【3.1河川整備の基本理念】 山国川では、河川や流域の治水、利水、環境に関する現状や課題を踏まえ、以下を骨子とする河川整備を目指します。 ＜治水＞ ○生命・財産を守る川をつくり維持する。 ○地域と一体となった防災・減災を目指す。 ＜利水＞ ○水の恵みと生命育む流れを守り伝える。 ＜環境＞ ○山国川固有の生命を育む水辺環境を守り伝える。 ○名勝耶馬溪等の歴史・文化・景観を守り伝える。 ○県境や上下流を繋ぐ利用環境を目指す。	○	
2	○	危機管理意識を高めつつ整備をお願いします。						
3	○	国が主体的に災害に強い河川改修を行うべきだと思う。						
4	○	今後地球温暖化に伴って集中豪雨災害が発生すると思われませんが、下記、河川整備として強靱な堤防の整備、河川の掘削と川幅の拡張、オランダ橋(文化財として)整備、観光地としての整備(名所として植林)等、要望する。						
5	○	100年に一度の大水害だったが、大雨が降って、河川が増水するのはあたりまえの事。必要な箇所は河川の改修や治水のための工事をしても良いと思うが、そもそも自然をコントロールしようとするのが間違いだと思う。無駄な公共事業で山国川をコンクリートだらけの川にするのだけはやめてほしい。						
6	○	耶馬溪橋の下の堤防は何の為にあれだけ大きな費用をして作ったのか意味がわかりません。それに観光も出来ないのに、ただ水害を大きくただけです無駄な堤防でした。						
7	○	過度な築堤や河床掘削は望みません。環境に配慮した河川整備をお願いします。それと同時に「減災」のための防災教育や危機管理等を流域に徹底していただきたいと思えます。						
8	○	災害時の緊急対策で河川をコンクリートの「要塞」化していくことには慎重にお願いしたい。「川づくり」は「山(森)づくり」に深く関係していると思うので、〈山～川～海〉のつながりの生態系を豊かにしていくことにもっと注目して、「百年の計」で考えてほしい。						
9	○	単に河川だけをみて整備するのではなく、山～海も含めての整備計画が必要と思われる。						
10	○	①治水(ハード対策)	平成24年7月洪水と同規模の洪水が来ても浸水被害が生じないような河川整備を進めて欲しい。	100年に一度といわれる昨年7月の水害が発生したが同規模の水量にも水害が発生しないような河川整備を行ってほしい。	本計画では、山国川中下流部の家屋等へ被害が生じる無堤箇所等において、今後30年程度で、堤防等の整備を実施します。また、流下能力が不足する区間においては、流下能力を向上させる対策として河道掘削及び横断工作物の改築等を実施します。これらの河川整備を実施することで、戦後最大の洪水である平成24年7月3日洪水と同規模の洪水に対して被害を防止又は軽減することが可能になります。 具体的な整備箇所については、変更計画原案のP48～P51【4.河川整備の実施に関する事項 4.2.1(1)河道の流下能力向上対策】に示しています。	○		
11	○			昨年の7月の豪雨による垂水田の浸水により、ハウスが被災しました。土壌の延長を含めて何か良い案があれば是非実際の工事計画をお願いします。				
12	○			柿坂地区①山国川と山移川の合流点の杉の木、雑木全部を切って撤去する。②河床掘削をする。③中津留橋の下の河川敷を撤去して流れを良くしてはどうか。もう50cm上っていたら柿坂の町中に水が入っていたと思う。				
13	○			7/3とその後の2回20aのいちごハウスが水没し約250万位の生産低下が起きた。				
14	○			川巾を広く、石等取り除いて水の流れをよくする様にしてほしい。				
15	○			原井付近では川巾が狭いようであるが広げてはどうか(再三、水害にあっているが)。				
16	○			青の洞門の対岸を掘削して拡幅しては？				
17	○			オランダ橋上下に堤防を設置されたい。それをする事により各自が対応されなくて済む。例えば、自分の家を土のうで囲んだりしなくて済む。皆が未曾有の災害から回避出来る。30年も費やす期間も優先順位を考え、ここが出来れば皆が対応しなくて良い方法が最もベターの処理を。				
18	○			水が畑の中に入ってきたが、水が上がらないよう堤防など造るのか。				
19	○			中島公民館の裏市有地が浸水した。対策はどうするのか。				
20	○			オランダ橋と山国川の橋の間をガードレールではなく堤防にしてほしい！！それとオランダ橋の所にゲートがほしい。樋田地区に水が入ってこないようにしてほしい。				
21	○			上宮ノ馬場のお宮側の方の堤防は2m以上でないためで水害に合う。堤防の件については8年前に提出してある。				
22	○			早く堤防の設置や河川の土砂の撤去をお願いしたい。河川が前に比べて1m50cm位浅くなっている。自宅裏など現状では膝下位で半分まで歩いて行ける状況であり、梅雨を前に心配である。				
23	○			流下能力の向上のための努力をお願いします。 ・川幅の狭小区間の解消 ・流線の改良 ・河床の堆積土砂の撤去				

山国川水系河川整備計画【変更原案】に対するご意見及び回答集

番号	意見者		分類	主な意見	意見	回答	対応				
	住民	学識者					整備計画【原案】に反映済み	整備計画【案】に新たに反映			
24		○	① 治水（ハード対策）	—	H24.7出水の被災箇所は、従来の整備計画における整備予定箇所も含まれていたことや、整備が完了していたら被害は軽減できたことを記載してほしい。	ご意見を踏まえ、以下に追記しました。  P15【2.山国川の現状と課題 2.1(1)洪水対策】 山国川では昭和23年から国管理河川として河川改修を進めてきており、平成24年4月時点で、約79%の堤防が完成しています。しかし、中津市の曾木地区（河口から16.4km付近）より上流区間では、堤防未整備区間が多く残っているのが現状です。平成5年9月洪水の際には、この堤防未整備区間から河川の水があふれ、家屋が浸水する等の被害が発生したため、築堤護岸工事を実施しているところですが、平成24年7月洪水の際においても、堤防未整備区間から河川の水があふれ、多くの家屋が浸水する被害が発生しています。なお、これらの区間には、平成22年策定の「山国川水系河川整備計画」で堤防整備を予定していた区間も含まれます。また、横断工作物等により河川水位が上昇する箇所も見られるなど、未だ既往の洪水に耐えうる状況とはなっていません。		○			
25	○			早期の河川改修、具体的な改修計画、タイムスケジュールの提示をお願いしたい。	一日も早い復興を願っている。山国川の川の流れを良くしてほしい。	河床掘削等を早急に行なう。梅雨時期にまにあう様に。	早期着工に向けた具体的なスケジュールについては現在検討中です。具体的なスケジュールが決まり次第、お示しします。 なお、本計画では、これまでの洪水被害の発生状況や河川整備の状況、氾濫域の重要度等を総合的に勘案し、基本方針で定めた目標に向けて、上下流及び本支川の治水安全度のバランスを確保しつつ段階的かつ着実に整備を進め、洪水等に対する安全性の向上を図ることとしています。	—	—		
26	○				昨年、山国川よりの流れにより、2回周辺地域が浸水した。堤防の整備されていないヶ所（垂水田付近）があるためその間より流入し、田畑が浸水した。そのため早急なる堤防整備をお願いしたい。	早急に築堤を行ってほしい。平田上宮ノ馬八幡社前の堤防のかさ上げを早急に工事してほしい。					
27	○				整備計画期間が30年間とされているが、地球温暖化や気候変動により予測不可能な状況が発生するのではないか。10年位のスパンで策定し、実現可能な整備計画をたててほしい。	早急に山国川の改修計画を提示してもらいたい。					
28	○				30年間のタイムスケジュール、優先度がわかる様にしてほしい。	早急に工事にかかってもらいたい。					
29	○					昨年7月洪水にて、床上浸水したので、栃木地区に堤防等の早期着工を求む。具体的にいつまでやるのかの発表をお願いしたい。30年は永い！					
30	○					整備計画の完成時期がこれから30年後ということになれば、今後も水害にあうかもしれない。工事の完了は数年以内に終わるようにしてほしい。					
31	○					内水対策をお願いしたい。				内水対策については、地域・関係機関等と連携・調整を図りつつ原因の究明及び被害軽減に向けて流域の特性に合わせた総合的な内水対策を含めた検討・整備を行うこととしています。	○
32	○					防災計画が進むと、内水対策が必要になる。今から、内水対策を含めて総合的な対策を取ってほしい。					
33	○					城井小学校前ゲートについて、ゲート閉まると流れてきた水が外(川)にでない。					
34	○										
35	○										
36	○										
37	○										

山国川水系河川整備計画【変更原案】に対するご意見及び回答集

番号	意見者		分類	主な意見	意見	回答	対応	
	住民	学識者					整備計画【原案】に反映済み	整備計画【案】に新たに反映
38	○		② 治水（ダム操作）	洪水被害が起こらないよう、河川整備だけでなく耶馬溪ダムの運用方法についても検討してほしい。	一級河川として地域住民とかかわりの中で現在、耶馬溪ダムの果す役割が理解出来ていない。ダムが出来てからの水害が多く発生している様に見受けられる。	P59【(2)河川管理施設等の操作管理】 耶馬溪ダムについては、今後も操作規則等に基づき、気象、水象、その他状況を踏まえ、適切に洪水調節し、下流河道への流量を低減させます。	○	
39	○				大雨の気象情報が出ている場合は、ダム湖が満杯になる前に、放水をして、調整をすることが重要であると思う。今は、ダム湖の水量が満杯になってから放流していて、山国川の一番増水しているときに重なるため、被害を大きくしているの、その点を考慮して放流するようにすれば、少しは、被害を小さくできると思う。			
40	○				3時間で150mmを越す時には前もってダムの放出を行って150mm以上の雨の時はダムの水を流さない方法を取って行けば10分20分の流出をとめることができるのではないかと思います。			
41	○				集中豪雨による河川の増水ピーク時にダムの放流も行われており、少しずらして、水位が下がりはじめてからの放流は出来ないか？河川整備も必要だが、ダムの貯水能力一杯まで貯めて調整出来ないものか？			
42	○				雨の多い時は前もってダムを放流しておく。			

山国川水系河川整備計画【変更原案】に対するご意見及び回答集

番号	意見者		分類	主な意見	意見	回答	対応	
	住民	学識者					整備計画【原案】に反映済み	整備計画【案】に新たに反映
43	○		③ 治水（維持管理）	河道内に堆積した土砂や繁茂した樹木の除去をお願いしたい。	昔は川の砂利を取ったり良く見かけた。川底が上がっているのではないか。	P59【2】河道の維持管理】 洪水の流下能力に大きな影響を及ぼすような場合や環境に影響を及ぼすような場合等、河川や河川管理施設に支障が生じる恐れがある場合には、植生、鳥類、魚類等の生育・生息・繁殖環境に配慮しながら、計画的・段階的に土砂の除去や樹木の伐開を行い、適切な河道の維持に努めます。	○	
44	○				支流が流れ込む地点の堆積土砂を撤去して欲しい。			
45	○				河床がかなり上がっているので掘削が近年あまり行われていないので速急に必要かと思う。			
46	○				河川内にある民地を買収して、国有地として河川域にすることで、水の流れをよくしてほしい。（立木を切って）具体的には、柿坂地区で、耶馬溪ダムから流入する所（山国川との合流地点）を対応してほしい。			
47	○				約30年間住んでいるが、土砂や樹木の堆積が水の流れに大きく左右していると思うが、国交省はいままでかんたんな伐採しか行っていないと思う。大きな災害にならない様、毎年整備なり、調整をお願いしたい。			

山国川水系河川整備計画【変更原案】に対するご意見及び回答集

番号	意見者		分類	主な意見	意見	回答	対応		
	住民	学識者					整備計画【原案】に反映済み	整備計画【案】に新たに反映	
48	○		④ 治水（危機管理）	—	危険意識を住民にどう理解させるか重要なことだと思う。子供のころから意識させる教育は重要なこと。岩手の子どもに学ぶことが大切だと思う。	P53【(5)危機管理対策】 災害に関するわかりやすい情報の提供、危険度がひと目でわかり役に立つ情報システムの整備等のソフト対策により、関係機関や住民への災害情報の提供体制の構築・強化や、個人・地域の防災力の向上を進めています。なお、ソフト対策実施後においても、地域のみなさんに情報が伝わっているか、正しく理解されているかを把握し、必要に応じて改善を図ります。	○		
49	○			専門用語が理解しづらいので、わかりや表現をお願いしたい。	「川の防災情報(水位雨量)」を知りたいときには？ 7/3の水害以降、①と③にご紹介頂いている方法で情報取得を試みました。このような情報に注視する程の状況下、①は大雑把過ぎると思います。③のような表示を①に反映できれば、広い周知につながるのでは？	ご指摘も踏まえて、P62【(6)わかりやすい河川情報の提供】に基づき、住民の皆様へのよりわかりやすい防災情報の提供を目指し、各種取り組みを推進してまいります。	—	—	
50	○			3000m3とか250tとか意味がよく理解できない。もう少し表現を考えるべきでは					
51	○			河川整備について専門的な言葉が多く理解するのに苦労した。					
52		○		—	分かりやすい情報や危険度が一目で分かる情報の提供は重要であり、今後も取り組んでほしい。	P62【(6)わかりやすい河川情報の提供】 山国川では、「九州川標プロジェクト」を推進し、わかりやすい量水標の設置など避難に役立つための取り組みや、河川内の看板の点検・整備を行っています。	○		
53		○	—	公助による防災には限界があることから、国として、自助、共助を含めた減災へ如何に寄与できるかが重要である。このこと(自助、共助への寄与)について本文へ記載してほしい。	ご意見を踏まえ、以下に追記しました。  P65【4.河川整備の実施に関する事項 8)危機管理】 計画規模を上回る洪水や整備途上段階で施設能力以上の洪水が発生し、はん濫した場合においても、被害を最小限に止めるためには、過去の被災経験や現状を十分に踏まえ、住民と関係機関とが相互に連携、協力し、危機管理体制を確立することが重要です。 このため「 <b>自助・共助・公助</b> 」が連携して、洪水はん濫等により流域の人々の生命・財産に被害が生じる恐れのある場合には、…の充実に努めます。		○		

山国川水系河川整備計画【変更原案】に対するご意見及び回答集

番号	意見者		分類	主な意見	意見	回答	対応	
	住民	学識者					整備計画【原案】に反映済み	整備計画【案】に新たに反映
54	○		⑤ 環境・景観	自然環境に配慮した河川整備をお願いしたい。	環境保全1つとっても大変な事だと思う。友枝川の公園の保全に4年ほどかかって身をもって経験しています。そもそも、友枝川の公園化は10年前計画され、完了したまま保全には全く手をつけていなかったということで、作業してよくなれば住民みんなが喜んでいることと思う。整備することの重要さはわかる。山国川の平成大堰下流が整備されているのを見るにつけてよくなったなあと思う。御苦労さんでした。	P48【(1)河道の流下能力向上対策】 山国川では、これから多くの箇所でも河川改修を実施していきますが、山国川の昔ながらの素朴な風景を後世に残せるように、また、川の中の多様な生物の生態系や山国川固有の歴史・文化にも配慮した整備に努めていきます。	○	
55	○			堤防など防水施設を設置する必要はあるが、河川が大昔から持続している生態系、特にうなぎや鮎などの魚が住みやすい自然的な流れを持つ豊かな河川にしてほしい。大きな石など転がして、魚の住み家をつくる。砂利などにより魚が住みにくい河川にしないでほしい。				
56	○			自然豊かに整備された”ふるさと山国川”になってもらいたい。				
57	○			外来種対策をお願いしたい。	山国川の水質および、外来種の魚の駆除をお願いしたい。	P68【(2)外来種対策】 現在、耶馬溪ダム湖や堰湛水域内では外来種の生息が確認されており、今後、在来種への影響が懸念されることから、その状況の把握や対策を関係機関と協力、連携して実施することとしています。	○	
58	○				近年特に、海・川鵜が耶馬溪、山国までのぼってきて山国川の魚に悪い影響をおよぼしている。特に鮎を放流しているが鵜による被害が多いためである。国の支援をお願いしたい。			
59		○			—	H24.7出水による動植物への影響についてコメントしてほしい。	H24.7出水による希少な動植物については、大きな影響は見られていません。(第2回山国川水系学識者懇談会に報告済)詳細については、今後の定期調査等の結果を踏まえて整理していきます。	—
60	○			—	耶馬溪の景観は、テーマパークのように簡単に作れるものではない。自然の保護、景観の保全を最優先にお願いしたい。	P48【(1)河道の流下能力向上対策】 「名勝耶馬溪」の指定を受けている大井手堰より上流の区間において、堤防等新たな施設整備や河道掘削等を行う際には、学識経験者や関係機関の意見を聴きながら、また地域とも連携し、その景観を構成する「川筋(岩河床)」、「構造物」、「周辺の奇岩」の三つの要素を調和させ、山国川の昔ながらの素朴な風景を後世に残せるように整備することとしています。	○	
61		○		—	景観に配慮するしくみをつくとともに、その旨を本文へ記載してほしい。	ご意見を踏まえ、以下に追記しました。  P46【4.河川整備の実施に関する事項 (2)名勝耶馬溪及び耶馬日田英彦山国定公園の歴史・文化・景観等の保全】 また、堤防等の整備を行う際は、これまでの工事等の前例にならない、「川筋(岩河床)及び「周辺の奇岩」と「構造物(堤防、護岸等)」との調和を図り、山国川の昔ながらの素朴な風景を後世に残せるように、 <b>設計や施工を行うための仕組みづくりを行い、</b> 住民、学識経験者、関係機関等の意見を聴きながら <b>協働し</b> 、景観に配慮した整備に努めます。		○
62		○		—	近年は川の性格(瀬や淵の位置など)が変化してきているように思われる。過去からの変化を確認すべきではないか。	P59【(2)河道の維持管理】 山国川の河床部は全川的には近年安定傾向にあるものの、水衝部等において局所的な深掘れによる護岸や堤防等への影響が懸念されることを踏まえ、洪水時における流速や河道状況等についてモニタリングを実施しつつ、その結果等を反映した適切な維持管理に努めます。	○	

山国川水系河川整備計画【変更原案】に対するご意見及び回答集

番号	意見者		分類	主な意見	意見	回答	対応	
	住民	学識者					整備計画【原案】に反映済み	整備計画【案】に新たに反映
63	○		⑥全般・その他	利用を踏まえ、橋等の改修・修繕をお願いしたい。	耶馬橋の修理を早くお願いしたいです。	P69【(2)河川利用の場としての維持】 多様な利用(散策、水遊び、サイクリング、水上スキー、環境学習等)が安全・快適になされるよう、定期的に河川巡視や点検を行い、堤防、階段、親水護岸等の施設に異常が確認された場合は、できるだけ速やかな補修・修繕に努めます。	○	
64	○	津民サイクリング橋を広くして、車、自転車も通れるようにしたらよい。						
65	○	オランダ橋で現在、フェンスをやり直しているが、その必要は無駄と思われる。河川敷のフェンスが折れ曲がっている修繕をして戴きたい。						
66	○			—	5年前に上唐原地域に転入してまいりました。何も分らないまま「水門番」の当番に挙名されました。これは河川事務所と関係がありますか？地域住民に協力を託する範囲を超えていると思います。	一部の河川管理施設の操作については、市町に委託しており、「水門番」の当番については、委託された市町に委ねられています。	—	—
67	○			具体的な事業の内容について各地区で説明会を行って欲しい。	意見書を提出しているので本日の話に出た様に個別会議をお願いします。	P39【3.1河川整備の基本理念<治水>】 河川整備については、地域と一体となった防災・減災を目指します。	○	
68	○	堤防整備をする際、地域住民に事前に説明をして欲しい。			P48【(1)河道の流下能力向上対策】 堤防等新たな施設整備や河道掘削等を行う際には、学識経験者や関係機関の意見を聴きながら、また地域とも連携しつつ整備に努めていきます。			
69	○	各地区で説明会をお願いしたい。	これらを踏まえて、個別については事前に説明会の開催等により、意見を聴くこととします。					